

NIPPON STEEL 油井管・ラインパイプ(13CR and Super 13CR)
日本製鉄株式会社 OCTG and Linepipe (13CR and Super 13CR)



算定単位

1t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階 (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造)

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：関西製鉄所/和歌山地区 (和歌山・海南)

主な規格：

油井管: API 5CT
API 5CRA
ISO 11960
NEW SM-SERIES
(SM13CR-, SM13CRI-, SM13CRM-, SM13CRS-)

ラインパイプ: API 5LC
SM-SERIES (SM80-130S)

サイズ：

外径：60.3mm(2-3/8")~425.5mm (16-3/4")

問い合わせ先

日本製鉄株式会社
エネルギー鋼管営業部
https://www.nipponsteel.com/
http://www.tubular.nipponsteel.com/

登録番号

JR-BO-23001E-A

適用PCR番号

PA-187000-BO-02

PCR名

ステンレス管 (中間財)

公開日

2023年11月22日

検証合格日

2023年11月6日

検証方式

個品別検証方式

検証番号

JV-BO-23001

検証有効期間

2028年11月5日

PCRレビューの実施

認定日等 2023年 1月 6日

委員長 山岸 健

一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者*

外部検証員 梅原 由美子

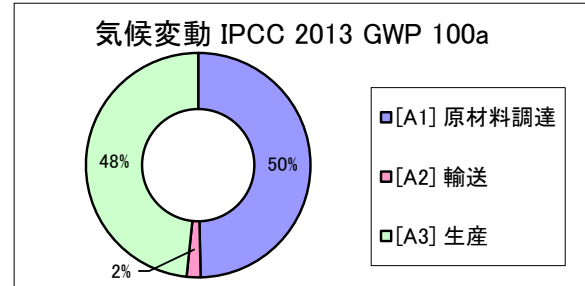
ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った
審査員の名前を記載。

① ライフサイクル影響評価結果

気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	6000	kg-CO ₂ eq
酸性化	13	kg-SO ₂ eq
光化学オキシダント	0.95	kg-C ₂ H ₄ eq



スコープ3やカーボンフットプリントの算定に関しては「⑥-1.その他の環境関連情報」を必ず参照のこと。

内訳	項目	単位	合計	[A1] 原材料調達	[A2] 輸送	[A3] 生産
	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	6.0E+03	3.0E+03	1.2E+02	2.9E+03
	オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	1.7E-04	1.7E-04	7.9E-10	2.5E-06
	酸性化	kg-SO ₂ eq	1.3E+01	1.2E+01	5.7E-02	1.7E+00
	光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	9.5E-01	7.0E-02	9.1E-04	8.8E-01
	富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	3.1E-01	2.6E-01	7.1E-13	4.7E-02

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
再生可能エネルギー	1.8E+03 MJ
非再生可能エネルギー	8.3E+04 MJ
再生可能資源	1.5E+03 kg
非再生可能資源	2.0E+03 kg
淡水の消費	5.5E+00 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

材料・物質 (使用部分)	単位
Fe	≥69.72 %
C	≤0.03 %
Si	≤1.00 %
Mn	≤1.00 %
Cu	≤0.25 %
Ni	≤6.5 %
Cr	≤14.0 %
Mo	≤7.0 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	2.9E+01 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

- 1)一次データは、2018年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- 2) 当該製鉄所では複数の発生源の電力を使用し、複数の製品の製造しており、各製品のバウンダリにおける電力のインベントリを発生源毎に分離できないため、自家発電や共同火力発電の環境負荷原単位データとして系統電力平均の二次データを使用した。
- 3)原料炭の輸送については、利用した原単位データベースの性質上、原単位が原料炭の項目と石炭輸送に二重計上となっている。
- 4)本シート上、③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の代表となるものについて最大値を示す。

⑥-1. その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。

[気候変動 IPCC2013 GWP100a] に関する注意：本製品の購入者が、その組織のスコープ3 カテゴリー1のGHG排出量を算定する場合や、本製品を用いて製造する製品のカーボンフットプリントを算定する場合には、以下のURLを必ず確認すること。

<https://www.nipponsteel.com/product/cfp/certificate.html>

(上記URLの内容は、EPDの検証対象外)

⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令
銅	7440-50-8	労働安全衛生法施行令
クロム	7440-47-3	労働安全衛生法施行令
ニッケル	7440-02-0	労働安全衛生法施行令

⑦ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。

⑧ 備考

変更日：2026年4月1日 エコリーフマークからSuMPO EPDマークに変更

変更日：2026年4月1日「⑥-1.その他の環境関連情報」に補足説明を追記

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)